

熊本県立大学 環境共生学部 居住環境学科
令和3年度(2021年度) 卒業論文・卒業設計発表会 プログラム
日時: 令和4年(2022年)2月13日(日) 午前8時55分～
第一会場: 大ホール

＜都市・地域計画分野/居住空間分野＞

発表時間: 発表 7分, 質疑3分

種別	発表 番号	梗概集 番号	題目	発表時間
論文	1	21	御船町の地域づくり活動における主体間の繋がりに関する研究	9 : 00 - 9 : 10
	2	22	火砕流台地斜面上に立地する集落の景観の成り立ちと特徴に関する研究	9 : 11 - 9 : 21
	3	23	限界集落と他集落のつながりによる集落機能の維持に関する研究	9 : 22 - 9 : 32
	4	24	熊本豪雨の復興計画策定プロセスにおける住民と行政の関わりに関する研究	9 : 33 - 9 : 43
	5	25	熊本豪雨における被災者による空き家の利用に関する研究	9 : 44 - 9 : 54
換気(5分)				
論文	6	17	熊本のセレクトショップにおける成り立ち及び繋がりに関する研究	9 : 59 - 10 : 09
	7	18	熊本市中心市街地における魅力的な街路空間に関する研究 - 熊本市三年坂での社会実験を事例として -	10 : 10 - 10 : 20
	8	19	アクティビティから見る商業地街路の質的評価指標に関する実践と研究	10 : 21 - 10 : 31
	9	20	隠れ家カフェにおける居心地良さを誘発する空間要素に関する研究 - 熊本まちなかを対象として -	10 : 32 - 10 : 42
換気(5分)				
設計	10	6	風景のある建築 風景への多様な視点場をもつ新たな道の駅の提案	10 : 47 - 10 : 57
	11	7	たまり場 触れ合えることの喜びを再認識させる公園のような建築	10 : 58 - 11 : 08
	12	8	興居島暮らし 島の自然と人に優しい建築	11 : 09 - 11 : 19
論文	13	9	茶室建築における空間構成に関する研究	11 : 20 - 11 : 30
換気(5分)				
設計	14	1	ヒトノワ	11 : 35 - 11 : 45
	15	2	もうひとつ	11 : 46 - 11 : 56
論文	16	3	広域自治体連携による空き家バンクの一元化に関する研究	11 : 57 - 12 : 07
	17	4	建築用木材価格高騰が災害復興当事者に与える影響の分析 - 令和2年7月豪雨被災地を対象として -	12 : 08 - 12 : 18
	18	5	With/Post COVID-19における飲食店の課題と空間の在り方に関する研究	12 : 19 - 12 : 29